

No.29-3 平成 29年5月 17日	<h2 style="margin: 0;">漁況情報・浜の話題</h2>	神奈川県水産技術センター 企画資源部 046-882-2489 相模湾試験場 0465-23-8531
-------------------------	---------------------------------------	---

● 漁況情報

- 4月17日、平塚市漁協所属 日海丸さんの大型定置網に、6kg 前後のワラサにブリが混じり、360本の漁がありました。4月18日には、大磯二宮漁協所属 第二弥梅丸さんの大型定置網で5kg 前後のワラサ 1,100本の漁がありました。ヒラマサ数本の漁もあったそうです。
- 4月25日、小田原米神漁場にて1日でワラサ37トンが漁獲されました。前日にも20トンを超える漁獲があり、連日ワラサの大漁が続き、試験場にも何社もの新聞社から問い合わせがありました。ワラサは相模湾では例年4月～5月が盛期なので、今後も大漁に期待したいところです。

● 浜の話題

- 平塚市漁協では、2月中旬から4月中旬にかけて、平塚地先海域の海底耕耘を6回実施しました。今年はゴミが少なかった一方で、採集生物も少なかったそうです。水産有用種では、3月1日に花水川河口域で300gのハマグリが1個とナガラミが数個、その他にクロダイ（約1.4kg）、ヒラメ（約1kg）が採集されました。
- 4月14日、藤沢市漁協の「湘南はまぐり」が、JF全漁連プライドフィッシュに選定されました。「湘南はまぐり」は、昨年9月には「藤沢特産品」、今年1月に「かながわブランド」にも認定されており、市、県に引続いてのブランド取得となりました。全漁連のプライドフィッシュのサイトには、湘南はまぐりのこだわりや、漁獲方法、湘南はまぐりが買える直売所や味わえる料理店、レシピ等、湘南はまぐりに関する情報が総合的に掲載されています。

JF全漁連 プライドフィッシュ「湘南はまぐり」掲載サイト

<http://www.pride-fish.jp/JPF/pref/detail.php?pk=1488600550>



大振りな「湘南はまぐり」

JF全漁連 プライドフィッシュ

- 4月20日、長井町漁協の各地区では、ワカメの種付け作業を実施しました。刈り取ってきたメカブを日陰干しで乾かしてから、海水を満たした水槽へ入れると多くの遊走子（ワカメの種のようなもの）が放出されていました。遊走子が付着したワカメの種糸は、漁業者が水槽で管理し、秋には海中へ展開する予定です。
- 4月20日、（公財）相模湾水産振興事業団は腰越漁協の協力のもと、行合川及び神戸川の河口にマコガレイの稚魚（体長3～4cm）を合計5千尾放流しました。順調に成長して、資源

に寄与することが望めます。

- 4月20日、(公財)相模湾水産振興事業団の放流事業により小田原早川沖と酒匂沖にマコガレイ稚魚の放流が実施されました。当日は5千尾の稚魚が県栽培漁業協会により準備され、漁業者の手により放流されました。今後大きく成長して、漁獲の増加につながることを期待されます。



放流されるマコガレイ稚魚

- 4月24日、長井町漁協ではヒジキが解禁になりました。例年と比べてヒジキの成長はいま一つのことですが、多くの漁業者が刈り取り作業を行っていました。
- 4月25日、神奈川県漁業士会は、平成29年度第一回役員会を横浜市西区のかながわ県民センターで開催しました。平成29年度関東・東海ブロック漁業士研修会(今年度は神奈川県が当番県)等について、活発に議論が行われました。
- 4月28日、相模湾のアカモク生産者8名が、アカモクPRのぼりを作成しました。のぼりには、「ネバシャキ新食感!」といったアピールポイントや、粘りのあるアカモクの特徴を一目瞭然と伝えるため、アカモクとろろの画像を盛り込んでおり、アカモク製品を取扱う漁業者の直売所店頭にて、PRして行くそうです。



直売所店頭に掲げられた、「アカモク」PRのぼり

- 4月28日、横浜市漁協柴支所で、斉田・小山指導漁業士及びアナゴ筒漁や小型底びき網漁を営む若手漁業者が、アカモク増殖試験を実施しました。当日は、柴地先海域で種子を持つアカモクの雌株を採取して、アカモクが生えていない海底が岩の海域に移植しました。移植した海域では、アカモクが種子を落とし、来年3月にはアカモクの繁殖が期待されます。